# セミナー
Seminars

セミナー
セミナー資料販売
過去のセミナー
ダイレクトメールのご登録

| ▲講座・セミナー一覧へ戻る |

ヘルスケア産業・流通研究プロジェクト

## ヘルスケア産業・流通セミナー2018

【2017年度下期】

～ヘルスケア産業・流通のビジネスチャンスを考える～

**第1部 ヘルスケア産業・流通の可能性と展望**
**第2部 ドラッグストア業態の2018年注目トピックス**

お申し込みは終了いたしました。
多数のご参加ありがとうございました。

## セミナーのねらい

- 健康食品市場の拡大や、ヘルスケアサービス提供手段の広がりといったヘルスケア産業・流通のビジネスチャンスを検討します
- 第1部では、政策動向調査と消費者調査をもとに、消費者の信頼にもとづく市場創造に必要な点を考えます
- 第2部では、総売上高6兆円・5%成長となったドラッグストア業態について、主要各社の戦略から2018年の注目ポイントを整理します

### 主な視点

- 「セルフメディケーション推進」の現状と課題と将来性（チャンス）
- 健康食品市場の活性化に向けた、店頭の課題と顧客対応
- AIやデータヘルスをどう流通に取り込み、販路拡大につなげるべきか
- ドラッグストア主要チェーンの戦略とヘルスケア対応

| | |
|---|---|
| 日時 | 2018年2月28日（水）13:30～17:30<br>・第1部：13:30～15:45<br>・第2部：16:00～17:30（※第2部のみの参加も可能です） |
| 会場 | （公財）流通経済研究所　大会議室<br>・JR、地下鉄「市ヶ谷」駅 徒歩5分<br>・東京都千代田区九段南4-8-21　山脇ビル10F |
| 参加費 | （1部・2部とも参加）1名につき40,000円（消費税別）<br>（2部のみ参加）1名につき15,000円（消費税別） |
| 参加対象 | メーカー、卸、小売業の経営企画・販売・営業・流通企画担当者<br>※上記の業種以外の方は、ご参加いただけない場合がございます。<br>あしからずご了承ください。 |

## 「ヘルスケア産業・流通セミナー2018」プログラム

### 第1部 ヘルスケア産業・流通の可能性と展望

◆時間：13:30～15:45　※途中休憩あり

#### ヘルスケア産業・流通の最新動向

**●視点①：ヘルスケア産業・流通政策の最新動向**
**●視点②：ヘルスケア市場動向・企業動向**

《セルフメディケーションの「信頼の連鎖」》

| | |
|---|---|
| 消費者 | 「自己判断に基づく行動」を促す<br>＝自ら健康状況を知り対応することの必要性を理解する |
| メーカー | 「健康改善手段の提供者」になる<br>・消費者のニーズ（期待機能）に応じた商品開発・商品提供 |
| 小売業 | 「信頼の窓口」となる<br>・店頭を通じた継続的な情報提供<br>・専門家の育成 |

◆視点①：ヘルスケア産業・流通政策の最新動向
- 2017年における、政府のヘルスケア重点化項目
（セルフメディケーション、ヘルスケア産業育成）
- 「食と健康」市場に向けた動きと課題、いますべきこと
（「機能性表示食品」の次を考える）
- 海外市場の動向
（「食と健康」推進に関する日米の流通比較）

◆視点②：ヘルスケア市場動向・企業動向
- 健康食品市場の動向
- 小売業における「食と健康」に対する売場開発の実際と課題
（ドラッグストア、スーパーマーケット）
- データヘルスを流通にどう取り込むべきか
（圏央データの活用、店頭における健康相談対応。スマートフォン活用の可能性　等）

#### 消費者調査報告：「ヘルスケアサービスニーズの実態」

◆2016年～2017年に行った消費者調査をもとに、ヘルスケアサービス全体に対する利用者の声をまとめ、健康意識とサービス対応を考えます。

| 流通経済研究所・消費者調査の概要 |
|---|
| （調査概要）<br>・2016年～2017年に全国6エリア、のべ30チェーンのドラッグストア店舗利用者を対象に、健康への関心度、ドラッグストアをはじめとするヘルスケアサービスの利用状況を調査 |

《ドラッグストア利用者の声・要約》
（店頭における健康対応・2017年調査）

| | |
|---|---|
| 評価 | ・一般市販薬を探していると声をかけてくれる<br>・アミノバイタルのうち、スポーツに合う商品を紹介してくれた 等 |
| 要望 | ・薬の説明が長い／愛想がない 等 |

#### 提案まとめ

**●ヘルスケア産業・流通からビジネスチャンスを考える**

### 第2部 ドラッグストア業態の2018年注目トピックス

◆時間：16:00～17:30　※途中休憩あり

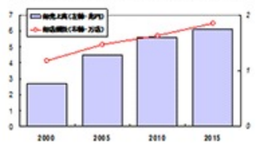
#### ドラッグストア業態および主要チェーン分析

◆売上6兆円強、8年ぶりの総売上高5%成長（※）とドラッグストア業態は低成長期から脱し再成長期を迎えつつあります。
※日本チェーンドラッグストア協会調べ
◆主要チェーンの中には、今回の再成長期を店舗の生産性向上や業態改革の好機と捉えるところがあります。今後の営業提案には、チェーンの持つ商圏と顧客、そして企業戦略を理解した上での営業提案が求められるでしょう。

#### 報告トピックス

◆ドラッグストア業態の売上および店舗数の推移、成長性および地域性分析
◆ドラッグストアチェーン上場14社の2017年度決算動向と戦略レビュー
◆2018年のドラッグストアを考える上で注目したいポイント
（出店・商品・販売の戦略別に整理）

《ドラッグストア売上高・店舗数の推移》




《ドラッグストアチェーン上場各社　2017年決算動向》　※社名の後ろには決算月を記載

| | |
|---|---|
| 増収増益 | ウエルシアHD（株）2月 ツルハHD（株）5月 ゲンキー（株）6月<br>（株）サンドラッグ 3月 （株）クリエイトエス・ディーHD 5月 （株）薬王堂 2月<br>（株）カワチ薬品 3月 （株）コスモス薬品 5月 |
| 増収減益 | スギHD（株）2月 （株）ココカラファインHD 3月<br>（株）キリン堂 2月 |
| 減収増益 | （株）マツモトキヨシHD 3月 |

※上場企業のうち、（株）クスリのアオキHD（決算月5月）とサツドラHD（株）（同5月）は、連結化およびHD化、決算期変更のため、前期との比較を割愛

**「ドラッグストア戦略セミナー」データ資料集頒布のお知らせ**

◆セミナー（第2部）内で紹介するドラッグストア業態分析および主要企業の決算・戦略分析資料を頒布します。
※2017年度の「ドラッグストア戦略セミナー」の提供資料・データをもとに作成したものです
◆主な内容：各社2017年度決算レビュー、上場14社戦略比較　等
◆価格：25,000円（税別）※頒布方法はセミナー内で案内いたします

ご購入はこちら

#### 報告

[報告]
公益財団法人　流通経済研究所　主任研究員　加藤弘之
主任研究員　重冨貴子

※プログラムは変更の場合があります。ご了承ください。

## お申し込み方法

お申し込みは終了いたしました。
多数のご参加ありがとうございました。

## お問い合わせ

公益財団法人流通経済研究所　ヘルスケア産業流通セミナー2017
担当：東（あづま）、重冨、加藤（弘之）
住所：〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-21　山脇ビル10階
電話：03-5213-4533　FAX:03-5276-5457

| ▲講座・セミナー一覧へ戻る |

Copyright © The Distribution Economics Institute of Japan. All RIghts Reserved.